

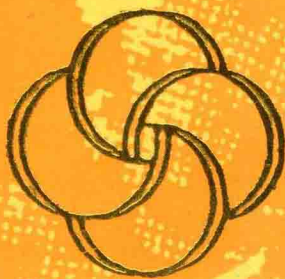
中央电视台教育节目用书

中日交流

标准日本语



下
初级



人民教育出版社

中日交流

标准日本语

初 级 下

(中国) 人 民 教 育 出 版 社
(日本) 光村图书出版株式会社

合作编写

人民教育出版社

目 录

序言	1
本册内容与结构	4

日语基础知识

Ⅰ. 日语发音的特点	12	Ⅱ. 日语书写的特点	13
Ⅲ. 日语构词的特点	15	Ⅳ. 与活用有关的词形对照	16
Ⅴ. 日语句子结构的特点	18	Ⅵ. 日语中的敬语	18

第 7 单元

第26课 日本語を勉強するのは、楽しいです	20
第27课 食事の時、日本人ははしを使います	32
第28课 わたしは今日、秋葉原へ行こうと思います	46
第29课 わたしの趣味は、切手を集めることです	60
〈阅读文〉 遣隋使と遣唐使	72
〈单元小结〉	74

第 8 单元

第30课 冬になると、北海道や東北地方では、雪が降ります	76
第31课 田中さんは、元旦に、初もうでに行くつもりです	90
第32课 部屋の窓は、開けてあります	104
第33课 大みそかに、餃子を作っておきます	118
〈阅读文〉 気候と生活	132
〈单元小结〉	134

第9单元

第34课	雨が降らなければ、作物は育ちません	136
第35课	自動車工場の機械化が進んでいて、驚きました	150
第36课	食事が終わったら、テレビを見ましょう	164
第37课	李さんは、日本語が話せます	176
〈阅读文〉	貿易と国際交流	190
〈单元小结〉		192

第10单元

第38课	王さんは、田中さんに太極拳を教えてあげました	194
第39课	田中さんは、今、日記をつけているところです	208
第40课	王さんは、隣の人に足を踏まれました	222
第41课	中国語が話せるように、ラジオで勉強しています	236
〈阅读文〉	かわいい友好使節	248
〈单元小结〉		250

第11单元

第42课	お母さんは、純子さんに、食事の支度を手伝わせませす	252
第43课	若者の職業観は、変わったようです	266
第44课	俳句の勉強をするなら、この本がいいと思います	280
第45课	女性の外交官もいるし、女性の新聞記者もいます	292
〈阅读文〉	通信技術の進歩	304
〈单元小结〉		306

目录

第12单元

第46课 王さんは、今、大学から帰ってきたばかりです	308
第47课 鈴木先生が、おっしゃいました	322
第48课 会議室はこちらです。私が、御案内します	336
第49课 今日できることを、明日に延ばすな	350
〈阅读文〉 日本語	362
〈单元小结〉	364
第50课 模拟试题	368

附录	386
Ⅰ. 课文译文	387
Ⅱ. 练习Ⅱ、模拟试题答案	405
Ⅲ. 句型索引	416
Ⅳ. 总词汇表	419

序 言

《中日交流标准日本语》是供中国自学日语的读者使用的一套读本,是人民教育出版社与日本光村图书出版株式会社根据 1985 年 12 月 13 日达成的协议通力合作、精心编撰的成果。全套读本由初级上、下和中级上、下共四册组成。现首先发行的为初级上、下两册,中级上、下两册也将于年内发行。

为保证读本的理想质量,光村图书出版株式会社聘请日本语学、汉学及日本语教育几方面的专家组成编委会,承担了主要的撰写和编辑任务;人民教育出版社负责审定、翻译及出版。作为两社友好合作的开端,双方均为本书的问世作了巨大的努力,有关学习内容、体系、文字描述及程度适当等问题,都经过中日双方几十次编辑会议反复研讨。

采用《中日交流标准日本语》的书名,一方面体现了双方出版社卓有成效的合作,另一方面也深切地希望通过本书读者的日语学习和运用,有助于中日两国人民的深入交流。

本书的编写,力求质量上乘、内容完备,并从中国人学习日语的角度出发,让读者有系统而又不困难地学到标准、纯正和自然优美的现代日本语。因此,既重视日常会话等内容的实用性,有计划地选择句型、语法和词汇,配以详明的解说和练习,同时也注意保持高度的科学性。此外,书中还适当编入了与日本的语言、文化有关的知识性材料,以期扩大视野、增加学习兴趣。本册的内容与结构另有具体说明,请读者参阅。

另外,这套读本的一大特点是各册达到的程度目标,均与财团法人日本国际教育协会以及国际交流基金主办的日本语能力考试的等级相对应(初级上册为能力考试的 4 级,初级下册为 3 级,中级上、下册为 2 级)。根据每册书后的模拟试题,读者对自己达到的日语能力水平,可有一定的检验标准。

最后,谨向担任本书编撰工作的编辑委员、编辑助理委员付出的辛劳,表示衷心的感谢。国际交流基金对本书的编写给予了大力协助,在此一并致谢。

人民教育出版社
社长 叶立群

光村图书出版株式会社
董事社长 星野 巖

参加本书编辑、出版的人员如下：

〈中国〉

张 玺 恩	人民教育出版社副社长、副总编辑、编审委员
安 名 勋	人民教育出版社副社长、编审委员
张 秉 衡	人民教育出版社 编审
邱 海 良	人民教育出版社出版部主任
张 国 强	人民教育出版社日语组长、编辑
唐 磊	人民教育出版社 编辑
何 平 华	人民教育出版社 编辑
史 光 和	人民教育出版社 编辑

〈日本〉

编辑委员（按日语五十音顺排列）

大河内 康 宪	大阪外国语大学 教授
興 水 優	东京外国语大学 教授
佐 治 圭 三	大阪大学 教授
西 尾 珪 子	社团法人国际日本语普及协会 专务理事
野 元 菊 雄	国立国语研究所 所长
宫 地 裕	帝冢山学院 院长

编辑助理委员（按日语五十音顺排列）

安 達 幸 子	社团法人国际日本语普及协会
砂 川 有 里 子	筑波大学 讲师
戸 田 佐 和	社团法人国际日本语普及协会
水 野 マ リ 子	财团法人海外技术者研修协会
水 野 義 道	国立国语研究所 日语教育中心
山 本 紀 美 子	社团法人国际日本语普及协会

光村图书出版株式会社参加人员

西池	和巳	董事编辑部长
紀伊	萬年	编辑部副部长
吉田	直樹	日语编辑组组长

金子	哲	稲垣	耕二
真壁	恵里子	林	清

松尾	謙一郎
細見	雅彦

插图

後藤	薫
渡辺	則子

照片提供单位（按日语五十音顺排列）

朝日カルチャー・センター

N.N.P

講道館編集部

世界文化フォト

ダンディ・フォト

本册内容与结构

一、内容与结构

初级下册是以学习日语的人为对象，使读者学到基础日语知识的教材。

「初级上」已学了74个基本句型以及基础的语法项目，本册另编入基本句型24组（77个）以及语法项目。与「初级上」相同，也进行简明易懂的解说，提供了丰富的例句和练习，为读者进一步学习打下坚实的基础。「初级上」共计学习了大约800个基本词汇，本册出现的日语基本词汇约为900个，均从日语中重要、基本的词汇中选出。

本册的结构如下：

1. 日语基础知识

日语基础知识是在学习各课以前，对发音、书写、词汇结构、句子结构、敬语等基本项目作初步的了解。同时，还提出了本书与日本学校语法的术语对照表。

2. 正课单元

第26课至第49课编排了日语的基础句型。每4课为一单元，各单元末归纳所学的内容。各单元的题材也注意相对统一。

3. 模拟试题

第50课是试题，模拟日本语能力考试的形式，编排了相当于能力考试第3级的模拟试题。

4. 附录

书后的附录包括全部课文的译文、练习Ⅱ和模拟试题的答案、句型索引以及本册词汇表，供学习使用。

二、学习时间

每课学习时间以6小时为准，全册学习时间约150小时。

三、各课内容与结构

1. 重点

列出本课学习的重点，平均每课 3 ~ 4 个，由一组相关联的句型组成。

2. 课文

每课由 3 段课文组成，以介绍日本的社会、文化及中日交流等读者感兴趣的事物为内容。

第 1 段：根据重点句型，提出典型句子。

第 2 段：用重点句型和已学过的句型组成文章，反复学习句型的用法。

第 3 段：用重点句型编成会话，学习实用的、自然的日语。

3. 词汇 I、II

词汇 I 是课文出现的新词，词汇 II 是解说及练习部分出现的生词。词汇 I、II 合计平均每课提出 35 个左右。此外，解说及练习中的生词均作出标记 *，以便识别。

词汇表采取独立词与附属词、接词区分排列的办法，独立词用以下形式列出：

新词——读法、音调——词类——汉语释义

附属词和接词原则上不加汉语释义，在本课的解说中加以说明。

音调以日语基础知识的音调表示法为基础，采用①②……的形式标明。提出的动词，分别表示为 1、2、3 类。

词类的名称，对日语基础知识提出的 11 类品词中的独立词，采用略语的形式表示，专有名词、寒暄语以及词组与其他独立词区别开来。

略语表

名词—〔名〕	代词—〔代〕	专有名词—〔专〕
副词—〔副〕	连体词—〔连体〕	接续词—〔接续〕
感叹词—〔感〕	动词—〔动〕	形容词—〔形〕
形容动词—〔形动〕	寒暄语—〔寒暄〕	词组—〔词组〕

4. 句型、语法解说

对重点句型的用法进行简洁说明，提供较多的例句。对助词的用法、用言活用、句子结构以及指示词、接续词的用法等语法项目，也作了明确解说。

5. 词语与用法说明

内容与结构

对课文中需特别注意的词语及用法加以说明。对地名、国名、动植物名等有一定关联的词汇，也适当归纳小结。

6. 练习Ⅰ、Ⅱ

练习Ⅰ通过词语替换等简单形式反复练习，以便确实学到重点句型；练习Ⅱ是在练习Ⅰ的基础上的扩展，既训练应用句型的能力，也包含语法、词汇等学习内容。为便于自学，书后附录编入练习Ⅱ的答案。

7. 专栏

取材于各课课文内容涉及的日本生活、文化、习俗、语言等，并利用照片和插图，使读者轻松愉快地获得有关日本和日语的知识。

8. 阅读文

各单元后均安排由该单元所学句型、词汇组成的阅读文。既是复习，也在一定程度上学习完整的文章。

9. 单元小结

各单元之末还设单元小结一览表，以便自学者整理归纳本单元所学的句型、语法、词汇及其表达方法。

四、与日语能力考试相适应

本册系参照财团法人日本国际教育协会和国际交流基金为外国人举办的“日语能力考试”第3级的标准编辑而成。第50课的模拟试题是在预测日语能力考试的命题范围、水平、份量的基础上提出的。

第3级的评定标准如下。

- 基本语法
- 300个左右日语汉字
- 1500个左右单词
- 能进行简单的会话
- 能读写简单的句子及简短的文章
- 学够150小时

五、本册使用的符号

各课重点及解说中使用的符号如下：

… 表示有活用的词

～ 表示名词或句子

() 表示在某些句中需要加入的成分

[] 表示接在动词、形容词词尾和形容动词词干后面的词

甲／乙 表示有时为甲，有时为乙

六、录音磁带

为了通过实际声音学习日语，本书配备了盒式录音带。磁带中录有课文朗读及模拟试题的听力题等。与本书并用，必然取得更佳学习效果。

目 录

序言	1
本册内容与结构	4

日语基础知识

Ⅰ. 日语发音的特点	12	Ⅱ. 日语书写的特点	13
Ⅲ. 日语构词的特点	15	Ⅳ. 与活用有关的词形对照	16
Ⅴ. 日语句子结构的特点	18	Ⅵ. 日语中的敬语	18

第 7 单元

第26课 日本語を勉強するのは、楽しいです	20
第27课 食事の時、日本人ははしを使います	32
第28课 わたしは今日、秋葉原へ行こうと思います	46
第29课 わたしの趣味は、切手を集めることです	60
〈阅读文〉 遣隋使と遣唐使	72
〈单元小结〉	74

第 8 单元

第30课 冬になると、北海道や東北地方では、雪が降ります	76
第31课 田中さんは、元旦に、初もうでに行くつもりです	90
第32课 部屋の窓は、開けてあります	104
第33课 大みそかに、餃子を作っておきます	118
〈阅读文〉 気候と生活	132
〈单元小结〉	134

第9单元

第34课	雨が降らなければ、作物は育ちません	136
第35课	自動車工場の機械化が進んでいて、驚きました	150
第36课	食事が終わったら、テレビを見ましょう	164
第37课	李さんは、日本語が話せます	176
〈阅读文〉	貿易と国際交流	190
〈单元小结〉		192

第10单元

第38课	王さんは、田中さんに太極拳を教えてあげました	194
第39课	田中さんは、今、日記をつけているところです	208
第40课	王さんは、隣の人に足を踏まれました	222
第41课	中国語が話せるように、ラジオで勉強しています	236
〈阅读文〉	かわいい友好使節	248
〈单元小结〉		250

第11单元

第42课	お母さんは、純子さんに、食事の支度を手伝わせませす	252
第43课	若者の職業観は、変わったようです	266
第44课	俳句の勉強をするなら、この本がいいと思います	280
第45课	女性の外交官もいるし、女性の新聞記者もいます	292
〈阅读文〉	通信技術の進歩	304
〈单元小结〉		306

目录

第12单元

第46课 王さんは、今、大学から帰ってきたばかりです	308
第47课 鈴木先生が、おっしゃいました	322
第48课 会議室はこちらです。私が、御案内します	336
第49课 今日できることを、明日に延ばすな	350
〈阅读文〉 日本語	362
〈单元小结〉	364
第50课 模拟试题	368

附录	386
Ⅰ. 课文译文	387
Ⅱ. 练习Ⅱ、模拟试题答案	405
Ⅲ. 句型索引	416
Ⅳ. 总词汇表	419

中日交流
标准日本语

日语基础知识

I 日语发音的特点

1 音拍语

第一册“日语基础知识”已经学过日语发音的基本单位是用平假名表示的一个一个的音拍。所谓拍，就是发音的时间单位。例如：“ウミ”（海）数为两拍，是两拍词。“サクラ”（桜）是三拍词，“ウツクシイ”（美しい）是五拍词。因此，日语被称为音拍语（mora 语言）。汉语一字一个音节（syllable），它们是发音的基本单位，所以被称为音节语（syllable 语言）。日语的每一拍是一个“元音”或“辅音+元音”。“元音”有五个，即“あいうえお”。“かきくけこ”“さしすせそ”等则是“辅音+元音”。

不过，如我们已学过的，有两种情况属例外。一是“ん”/N/和“っ”/q/，都只有辅音无元音，而且“ん”难以单独发音，“っ”不能单独发音。但它们发音的长度均各占一拍。另一个是“きゃ きゅ きょ”等，由/kya/ /kyu/ /kyo/，即“辅音+y+元音”构成，它们各自发音的长度只有一拍。据说这些是来自古代汉语的发音。

2 词和句节的音调

日语的音调是指组成单词的几个拍节当中哪一拍高，哪一拍低的高低位置。并不象汉语音调那样在一个音节内有高低变化。一个音拍的词在音调上分不出高低。例如：“日（ひ）”和“火（ひ）”的区别就分不出来。但如果后续助词“が”，成为两拍，“日が”和“火が”按东京音调标记就出现差别。

“日が”	$\overline{\text{ひが}}$
“火が”	ひが

以上音调标记，若以东京音调为准，最主要的特征在于“是否下降”“从哪一拍开始下降”。这就是所谓的音调型。音调型的标记方法如下：